

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	本田泰弘
連絡先メールアドレス	yashonda@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	教授
所属	看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科
略歴	岡山大学医学部付属病院麻酔科・蘇生科疼痛外来担当（1982年～1988年） 筑波大学理療科教員養成施設卒業（1992年） 九州大学大学院医学系学府医療システム学分野研究生（2007年） 久留米大学大学院心理学研究科後期博士課程修了（2012年） 福岡天神医療リハビリ専門学校・鍼灸学科長（2007年4月～2017年3月） 九州看護福祉大学・看護福祉学部・鍼灸スポーツ学科教授（2017年4月～） 九州看護福祉大学大学院・看護福祉学研究科・健康支援科学 専攻 教授 研究指導教員（2021年4月～） 九州看護福祉大学・看護福祉学部・鍼灸スポーツ学科長（2022年4月～）
取得学位	博士（心理学）久留米大学 2016年
担当科目	医学概論、解剖学Ⅱ、臨床病態生理学Ⅰ（外科、整形外科、スポーツ傷害）、 社会鍼灸学演習、鍼灸医学総合演習、 鍼灸臨床実習Ⅱ（外科系）・Ⅲ（鍼灸スポーツ系）、鍼灸治療所実習Ⅰ・Ⅱ、 卒業研究、卒業研究論文
専門分野	スポーツ鍼灸、ペインクリニック領域の鍼灸、美容鍼灸
所属学会	全日本鍼灸学会、日本東洋医学会、日本心理学会、日本健康心理学会、 日本健康支援学会、日本ストレス学会、日本ストレスマネジメント学会
現在の研究テーマ	スポーツ領域における鍼灸の研究 鍼灸医学とメンタルヘルス 鍼灸医学を応用したセルフケア法の開発 美容医学領域における鍼灸の研究
教育研究業績 (著書・学術論文等)	(著書) 1. スポーツ東洋療法ハンドブック（共著）、医道の日本社、2001年 2. 痛みのマネジメント（共著）、医歯薬出版株式会社、2005年 3. ストレスケアの実際（編著）、錦房株式会社、2021年 (学術論文) 1. 本田泰弘, 古谷 生, 小坂 二度見 他 (1985). 鍼灸学校卒業後の進路と実態調査. 日本鍼灸学会雑誌, 35, 1, 57-61. 2. 本田泰弘, 津田 彰, 鄧 科, 堀内 聡 (2010). 鍼灸医学的メンタルヘルス診断としての頸部経絡テストの有用性. 久留米大学心理学研究, 9, 69-76. 3. 本田泰弘, 津田彰, 堀内聡 (2012). セルフ経絡指圧が気分及び急性効果とそのユーザビリティに関する研究. 久留米大学心理学研究, 11, 8-14. 4. 本田泰弘, 津田 彰, 堀内 聡 (2012). 経絡テストの陽性反応とストレスの自覚との関連性. 東洋医学とペインクリニック, 42, 17-25.

	<p>5. <u>Honda Y, Tsuda A, & Horiuchi S.</u> (2012) Effect of a four-week self-administered acupressure intervention on perceived stress over the past month. <i>Open Journal of Medical Psychology</i>, 1, 20-24.</p> <p>6. <u>Honda Y, Tsuda A, Horiuchi S.</u> (2012) Four-week self-administered acupressure improves depressive mood, <i>Psychology</i>, 3, 802-804.</p> <p>7. <u>Honda Y, Tsuda A, & Horiuchi S.</u> (2012) Validity of neck meridian test as a measure of stress. <i>Open Journal of Medical Psychology</i>, 1, 81-85.</p> <p>8. <u>本田泰弘, 津田 彰, 堀内 聡</u> (2013). 自覚ストレスの評価法としての頸部経絡テスト. <i>東洋医学とペインクリニック</i>, 42, 56-67.</p> <p>9. <u>本田泰弘, 津田 彰, 堀内 聡</u> (2013). セルフ経絡指圧がストレスに関連した気分に及ぼす効果. <i>健康支援</i>, 15, 49-54.</p> <p>10. <u>Honda Y, Tsuda A, Horiuchi S, Aoki S.</u> (2013) Baseline Anxiety Level as Efficacy Moderator for Self-Administered Acupressure for Anxiety Reduction. <i>International Journal of Prevention and Treatment</i>, 2, 3, 41-45. 他</p>
<p>社会活動・社会貢献</p>	<p>鍼灸医学の啓蒙普及活動</p> <p>① 山陽新聞カルチャープラザ「家庭でできるツボ実践」講師 (1986年)</p> <p>② NHK「健康のツボ入門」9回シリーズ出演 (1999年)</p> <p>③ 医師のための鍼灸医学講座講師 (2016年～)</p> <p>④ 九州看護福祉大学 公開講座「健康のためのツボ入門」(2017年～)</p> <p>⑤ NHKカルチャー熊本教室「健康のツボ入門」(2020年～)</p>